

## シシャモの河川遡上予測について

北海道立総合研究機構  
栽培水産試験場

シシャモの河川遡上期について下記のとおり予測を行いました。終漁日決定等の際に参考にさせていただければ幸いです。

道南太平洋海域のシシャモは産卵期になると、雌の卵巢重量が体重の 1/5～1/4 に達すると河川へ遡上を開始することが知られています。また例年、予測遡上開始日から数えて2～8日後に河川でのふくべ網調査（さけます・内水面水試）による捕獲ピークがみられています。これらの知見から、水産試験場では平成26年以降、生殖腺重量指数（GSI：卵巢重量÷体重×100）が22に達すると推定される日を遡上開始日、その2～8日後を遡上盛期として予測しています。

平成30年10月8日から11月1日にかけて鶴川沖、日高富浜沖で漁獲されたシシャモ雌（鶴川6回、富浜7回、計1,300尾）の成熟度調査を実施しました。GSIが10を超えた10月23日以降のデータを用いた結果、GSIが22に達するのは11月7日と推定されました。従って、**遡上開始日は11月7日ころ**、**遡上盛期は11月9日～11月15日ころ**と予測されます（図1）。

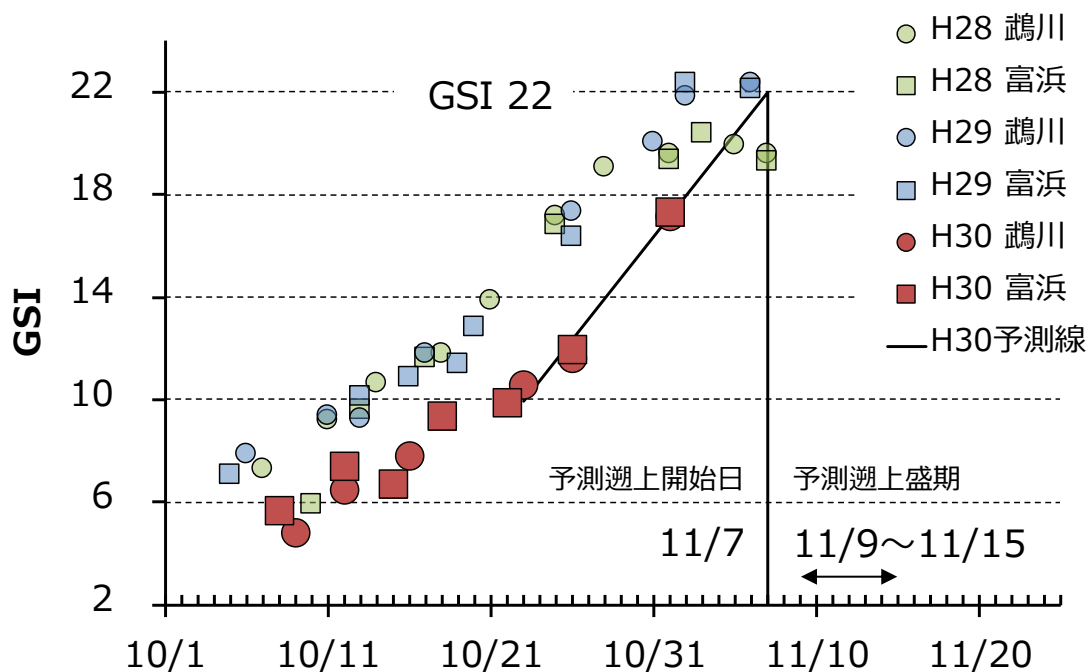


図1 生殖腺重量指数の変化から予測したシシャモの遡上盛期

10月20日時点の漁獲状況から、今年度のシシャモの資源状態は昨年と同程度である考えられます（図2）。また例年、遡上日の異なる（GSIの異なる）複数の群れが海域に混在しており、今年も同様であると考えられるため、各群の資源量と遡上時期次第では遡上盛期にズレが生じることも予想されます。資源の維持安定のために遡上する産卵親魚を確保するという観点から、遡上前にできるだけ早く終漁することが望ましいと考えられます。

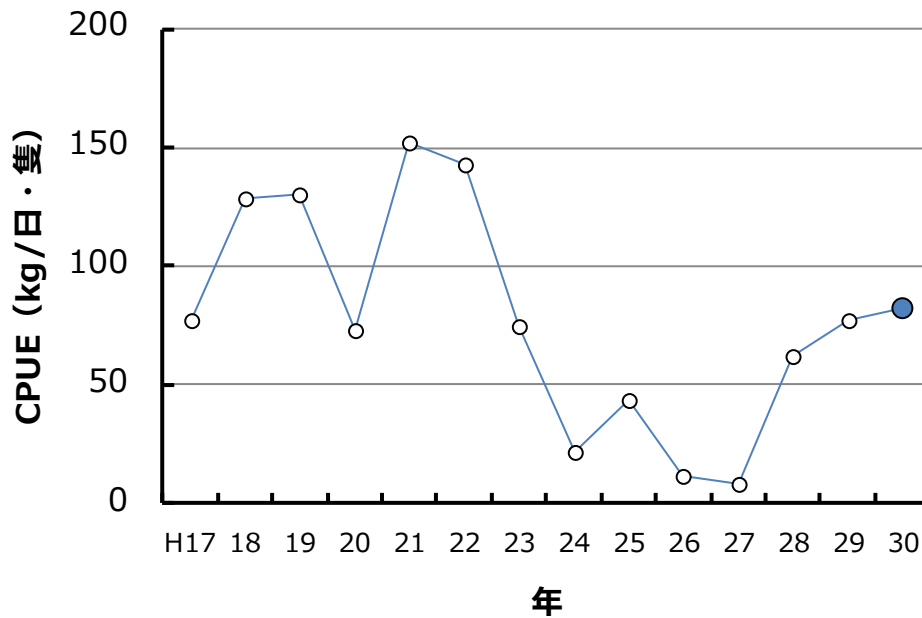


図2 えりも以西海域におけるししゃもこぎ網漁業の、10月20日までのCPUE(1日1隻あたり漁獲量)

（連絡先 0143-22-2327  
調査研究部 管理増殖グループ）